

畜産環境整備機構の役割

畜産環境整備機構のリース事業は、農畜産業振興機構からの助成をもとに「回転型リース」を実施しています。

全国の借受団体とネットワークを構築し、「系統」「商系」を問わず、畜産農家、食肉事業者、乳業者などの皆さんを対象に、低利で、機械施設をリースしています。

畜産環境問題解決のための技術的な相談や研修にも応じています。

「畜産環境技術研究所」を有し、環境問題等で困っている畜産農家の皆さんが実際に応用できる技術の開発、普及を図っています。

研究所でたい肥成分の分析も行い、全国各地の依頼に応えています。



一般財団法人 畜産環境整備機構

〒105-0001 東京都港区
虎ノ門5-12-1 ワイコービル

電話: 03(3459)6300

FAX: 03(3459)6315

<http://leio.or.jp>

畜産環境整備機構のリース 28年度事業のお知らせ



一般財団法人 畜産環境整備機構

28年度のリース事業 を拡充しました

●経営リース

①家畜ふん尿処理機械施設、飼料生産・給与等機械施設、家畜飼養管理等機械施設を拡充。

(簡易畜舎、太陽光パネル)

②6次産業化機械・施設の充実。
(食肉加工品・乳製品製造設備等)

③経営管理用機械

●生乳リース

乳製品の製造を行う個人・法人に対するチーズ等の乳製品製造設備

●調査リース

汚水処理機械・中古機械を対象に調査協力者に低料率でリース。



国産ナチュラルチーズは、全国で様々な種類が作られています。

ちくかんリースの特徴

- 自分の経営に一番合った施設・機械・装置を自分で選択できます。
- 頭金などの自己資金を用意する必要はありません。全額、リースで対応できます。
- リース料は、年払いまたは四半期払いのいずれかを選択可能です。年払いの場合、初年度の納入は4か月分。当初負担を少なくしています
- 貸付期間は、ある程度、延長または短縮が可能です。
- 貸付期間終了後、リース物件は借受者に譲渡されます
- 保証保険に加入することで、無担保・無保証人で借受できます(生乳リースを除きます)。
- 附加貸付料は低率で、認定農業者や過去の優良借受者はさらに引き下げられます。
- 貸付枠のあるかぎり、いつでも借り入れることができます。



附加貸付料の適用料率

平成28年7月6日以降

		料率(%)
経営リース	下記以外	0.70
	認定農業者 200万円以上の貸付で 過去に借受実績あり等	0.50
食肉リース	下記以外	0.75
	衛生管理機械	0.50
	過去3年度以内借入 実績が3000万円以上	0.60
生乳リース	下記以外	0.75
	過去3年度内の借入 実績が9000万円以上	0.60
調査リース	調査協力者	0.50

一般財団法人 畜産環境整備機構

〒105-0001 東京都港区
虎ノ門5-12-1 ワイコービル
電話: 03(3459)6300
FAX: 03(3459)6315
<http://leio.or.jp>